

# 学校調査

## 1 小学校

[ - 1 - 1表] 主要指標の推移

年度	学校数		学級数		児童数		教員数 (本務者)		1学級 当たりの		教員(本務者) 1人当たりの	
	対前 年増 減数	対前 年増 減率	対前 年増 減率	対前 年増 減率	対前年 増減率	対前年 増減率	対前年 増減率	児童数	対前年 増減数	児童数	対前年 増減数	
	校		学級	%	人	%			人			
平成 13	1,058	-	16,553	-	484,045	0.2	23,785	0.1	29.2	0.1	20.4	0.0
14	1,056	2	16,681	0.8	484,928	0.2	24,070	1.2	29.1	0.2	20.1	0.2
15	1,057	1	16,900	1.3	489,032	0.8	24,293	0.9	28.9	0.1	20.1	0.0
16	1,056	1	17,210	1.8	493,003	0.8	24,525	1.0	28.6	0.3	20.1	0.0
17	1,050	6	17,550	2.0	498,373	1.1	25,041	2.1	28.4	0.2	19.9	0.2
国立	3	-	54	-	2,121	0.9	74	-	39.3	0.4	28.7	0.3
公立	1,031	6	17,269	2.0	488,576	1.1	24,616	2.1	28.3	0.2	19.8	0.3
私立	16	-	227	2.7	7,676	3.3	351	2.0	33.8	0.2	21.9	0.3

### (1) 学校数

ア 学校数は1,050校で、前年度より6校減少している。

[ - 1 - 1表]

イ 設置者別では、国立3校(構成比0.3%)、公立1,031校(同98.2%)、私立16校(同1.5%)で、公立で2校新設、8校廃止となっている。

[ - 1 - 1表]

ウ 市町村別では、大阪市312校、堺市97校、東大阪市55校の順に多く、田尻町1校、忠岡町・太子町2校の順に少ない。

[統計表1]

エ 都道府県別では、北海道1,407校、東京都1,389校、大阪府1,050校の順である。

[付表-5]

### (2) 学級数

ア 学級数は1万7550学級で、前年度より340学級(2.0%)増加している。

[ - 1 - 1表]

イ 設置者別では、国立54学級(構成比0.3%)、公立1万7269学級(同98.4%)、私立227学級(同1.3%)である。

[ - 1 - 1表]

ウ 学級編制方式別では、単式学級1万5643学級(構成比89.1%)、複式学級22学級(同0.1%)、75条の学級1,885学級(同10.7%)である。

[ - 1 - 2表]

エ 市町村別では、大阪市4,640学級、堺市1,663学級、東大阪市994学級の順に多く、田尻町15学級、千早赤阪村22学級、太子町36学級の順に少ない。

また、前年度と比較すると、堺市126学級、大阪市86学級、豊中市27学級の順に増加し、寝屋川市・河内長野市・交野市・豊能町2学級、能勢町1学級の順に減少している。

[統計表1・付表-7]

[ - 1 - 2表] 学級編制方式別学級数・児童数

年度	総 数		単式学級		複式学級		75条の学級	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
	学級	人						
平成 13	16,553	484,045	15,073	478,370	18	141	1,462	5,534
14	16,681	484,928	15,113	478,795	22	189	1,546	5,944
15	16,900	489,032	15,232	482,412	24	214	1,644	6,406
16	17,210	493,003	15,432	485,901	25	236	1,753	6,866
17	17,550	498,373	15,643	490,601	22	224	1,885	7,548

(3) 児童数

ア 児童数は49万8373人で、前年度より5,370人(1.1%)増加している。

[ -1-1表・ -1-4表・付表-1]

イ 設置者別では、国立2,121人(構成比0.4%)、公立48万8576人(同98.0%)、私立7,676人(同1.5%)である。

[ -1-1表]

ウ 学級編制方式別では、単式学級49万601人(構成比98.4%)、複式学級224人(同0.0%)、75条の学級7,548人(同1.5%)である。

[ -1-2表]

エ 男女別では、男子25万5052人(構成比51.2%)、女子24万3321人(同48.8%)である。

[ -1-3表]

オ 市町村別では、大阪市12万8235人、堺市4万7849人、東大阪市2万9340人の順に多く、千早赤阪村313人、田尻町441人、能勢町871人の順に少ない。また、前年度と比較すると、堺市3,061人、大阪市1,160人、高槻市393人の順に増加し、富田林市183人、河内長野市130人、能勢町81人の順に減少している。

[統計表2・付表-7]

カ 都道府県別では、東京都58万36人、大阪府49万8373人、神奈川県47万9371人の順である。

[付表-5]

キ 1学級当たりの児童数は28.4人で、前年度より0.2人減少している。

また、市町村別では、泉大津市30.6人、忠岡町30.5人、太子町30.1人の順に多い。

[ -1-1表・付表-7]

ク 教員(本務者)1人当たりの児童数は19.9人で、前年度より0.2人減少している。また、市町村別では、太子町22.1人、熊取町21.7人、泉大津市21.5人の順に多い。

[ -1-1表・付表-7]

[ - 1 - 4表] 学年別児童数の推移

年 度	総 数	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
	人						
平成 13	484,045	84,179	79,759	80,997	80,028	79,501	79,581
14	484,928	81,706	83,873	79,327	80,873	79,817	79,332
15	489,032	84,142	81,470	83,767	79,107	80,781	79,765
16	493,003	84,437	83,893	81,302	83,642	79,067	80,662
17	498,373	86,527	84,246	83,858	81,201	83,495	79,046

ケ 帰国子女数は240人である。 [ -1-5表]

コ 外国人児童数は5,754人である。 [ -1-6表]

[ - 1 - 5表] 帰国子女数

年 度 間	総数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全国総数
	人							
平成 1 6	240	24	41	50	42	41	42	5,992

[ - 1 - 6表] 外国人児童数

年度	総数	国立	公立	私立
	人			
平成 17	5,754	20	5,482	252

(4) 長期欠席者数（平成16年度間）

30日以上長期欠席者数は6,087人で、前年度間より162人（2.6%）減少している。

理由別では、病気3,001人（構成比49.3%）、経済的理由4人（同0.1%）、不登校1,937人（同31.8%）、その他1,145人（同18.8%）である。

長期欠席者数が全児童数に占める割合は1.23%で、前年度間より0.05ポイント下がっている。全国平均は0.82%で、大阪府が0.41ポイント上回っている。

[ -1-7表・付表-2]

[ - 1 - 7表] 理 由 別 長 期 欠 席 者 数 の 推 移

年度間	総数	全児童数 に占める 長欠者率	欠 席 理 由			
			病気	経済的 理由	不登校	その他
	人	%	人			
平成 12	7,035	1.45	4,025	5	1,839	1,166
13	7,040	1.45	3,942	6	1,829	1,263
14	6,539	1.35	3,413	4	1,967	1,155
15	6,249	1.28	3,216	1	1,850	1,182
16	6,087	1.23	3,001	4	1,937	1,145

(5) 教員数（本務者）

ア 教員数（本務者）は2万5041人で、前年度より516人(2.1%)増加している。

[ -1-1表・付表-1]

イ 設置者別では、国立74人（構成比0.3%）、公立2万4616人（同98.3%）、私立351人（同1.4%）である。

[ -1-1表]

ウ 男女別では、男子7,965人（構成比31.8%）、女子1万7076人（同68.2%）である。

[統計表5]